

体力・地域スポーツ力向上推進事業【利府町】

1 事業名

体力・地域スポーツ力向上推進事業

(利府町及びリーフラス株式会社間の契約：令和2年6月8日から令和3年3月26日まで)

2 事業の目的と概要

本事業は、県内の児童生徒の体力・運動能力が全国平均を下回る現状等から、幼少期から運動習慣の確立や効率的かつ効果的な部活動等の推進を図るため、民間企業大学等と連携して児童生徒の体力・運動能力及びスポーツ力を向上させることを目的としており、利府町においては令和元年度から継続して実施するもの。

3 業務内容

(1) 体育指導員による体育科授業の支援

- ・ 跳び箱、鉄棒、マット運動等の器械体操、幅跳び、高跳び、ハードル走等の陸上運動、リズムダンス等の表現運動の実技指導や個別指導による技能向上支援
- ・ 短縄跳び、長縄跳びの実技指導や個別指導による技能向上支援と記録計測

(2) 体育指導員による児童の休み時間遊びの支援

- ・ 全校で取り組む「縄跳び」への支援
- ・ 全校児童対象「休み時間の運動イベント」の企画、運営
- ・ 校庭等での自由遊びの見守りと支援

(3) 体育科授業等に関わる教員の業務支援

- ・ 体育科授業のための器械準備等
- ・ 児童の縄跳び記録のデータ処理

(4) 児童意識調査の実施と分析

- ・ 児童意識調査票の作成
- ・ 調査後のデータ処理と分析



4 目標及び達成度

目 標	実 績
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の維持・向上 【指標】 コロナ禍においても、前年度（コロナの影響がない状態）と比較し、調査数値が維持または向上している。	今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、運動の面で多くの制限がある中での取組となったが、「握力」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」において前年度の全国平均値を上回る結果となった。特に顕著だったのが「3年女子の握力：3kg 上回った」「6年男子の20mシャトルラン：10回上回った」「2年男子の立ち幅跳び：10cm 上回った」結果であった。筋力、持久力、跳躍力の向上は、体育指導員と連携して取り組んできた「バランスのとれた運動能力」の向

	<p>上に向けた様々な実践の結果であると考えられる。また、維持できた数値となった種目は「50m 走」と「ソフトボール投げ」であった。</p>
<p>体育科授業の改善，質の向上</p> <p>【指標】</p> <p>「体育の授業が好き」と回答した児童の割合90%を目指す。</p>	<p>児童アンケートの結果（令和2年12月実施），92%の児童が「体育の授業が好き」と回答した。体育指導員が跳び箱など器械体操の模範演技や実技指導を行ったり，走り幅跳びなど陸上運動の個別指導を行ったりすることで児童の技能が向上した。また，縄跳び活動の支援等を行うことで，多くの児童ができる喜びを実感することができた。また，器械の準備等を教員と協働して行い，児童が運動したくなる環境づくりを進めることができた。</p>
<p>身体を動かす遊びやスポーツに親しむ児童を増やす。</p> <p>【指標】</p> <p>「体を動かしたり，スポーツをしたりすることは好き」と回答した児童の割合90%を目指す。</p>	<p>児童アンケートの結果（令和2年12月実施），89%の児童が「体を動かしたり，スポーツをしたりすることは好き」と回答した。体育指導員が休み時間において，全校で取り組んでいる「縄跳び」の活動支援や自由参加の「休み時間の運動イベント」，自由遊びの見守り等を行うことで，児童が「体を動かしたり，スポーツをしたりする」積極的な姿を多く見ることができた。特に，今年度新たに取り組み始めた「休み時間の運動イベント」では，体育指導員が月ごと6種類ほど（合計で20種類ほど）の運動遊びをポスター等で提示し，児童の参加意欲を喚起した。内容の充実との相乗効果で，休み時間も熱心に運動する児童の姿を多く見ることができた。</p>